記　者　発　表

平成２９年１１月１０日
東北土木技術人材育成協議会

遠隔操作式バックホウの操作講習会を開催します
～平成29年7月九州北部豪雨災害でも活躍！！～

東北土木技術人材育成協議会では、土砂崩落等の危険箇所における応急復旧のため、無線操作が可能な「遠隔操作式バックホウ」の操作講習会を実施します。（別紙－１）
操作講習会は、遠隔操作式バックホウの出動に備え、より熟練した操作技術を持つオペレータを育成するために行うものです。

「遠隔操作式バックホウ」のオペレータは、特殊な操作技能と熟練を要します。

本操作講習は、より迅速に対応出来るオペレータ育成を図るため、災害協定を締結している東北建設業協会連合会の協力を得て、東北６県の建設業者から２３名のオペレータが参加し遠隔操作講習を実施します。

平成２９年７月九州北部豪雨災害においては、河川堤防の緊急復旧工事を実施しており、東北管内新庄河川事務所においても危険箇所の無人化施工で活躍してます。

◆日　時：平成29年11月17日（金）13:15～14:15（実技講習）
※講習会は各県毎に計６回開催しますが、上記日時において報道機関に公開し併せて取材をお受けします。
なお、当日は岩手県内の受講者（３名）が対象です。

◆場　所：東北技術事務所　構内講習会場（別紙－２）
※見学を希望される方はヘルメットを準備しますので、問い合わせ先まで連絡をお願いします。

◆内　容：大型土のう設置（モニターによる遠隔操作）

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
副所長（機械）　宮本 典明（内線：２０５）
防災・技術課長　土肥 孝俊（内線：３３１）

（別紙－1）

えんかくそうさしき

遠隔操作式バックホウ

Ｈ２９（今年度）の危険箇所における活用状況



H28熊本地震（遠隔操作式バックホウによる作業状況）



＜目的＞　土砂崩れ等の災害現場で復旧作業を行う機械です。

＜特長＞　遠隔操作により、危険な箇所でも人が乗らずに作業が出来ます。

ヘリコプターにて空輸できます。

＜講習会で使用する遠隔操作式バックホウ＞

分解してヘリによる輸送も可能







（別紙－２）

東北技術事務所案内図　　宮城県多賀城市桜木３丁目６－１



東北技術事務所構内

